

<b>施設名</b>	静岡市興津生涯学習交流館		<b>所在地</b>	静岡市清水区興津本町829	
			<b>電話番号</b>	054-369-1111	
<b>所管部署</b>	静岡市生涯学習推進課	<b>HP</b>		<b>SNS</b>	

○施設外観・事業風景



○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考えなど(PRポイント等を含む)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和23年 公民館の設立</li> <li>・平成15年 静岡市と清水市合併、新静岡市誕生</li> <li>・平成16年 現在の位置に移設</li> <li>・平成20年 公民館から生涯学習交流館へ移行</li> <li>・平成24年 指定管理となる</li> </ul>		興津地区は、東海道の宿場町として、歴史、文化、伝統がある。それらを活かして、交流館、連合自治会及び各種団体が連携、協力してまちづくり事業を活発に展開している。	
<b>市町人口</b>	675610人	<b>施設対象人口</b>	11649人
<b>建物設置年月日</b>	平成20年4月1日	<b>開館日数(前年度実績)</b>	315日
<b>運営主体</b>	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ( 清水区生涯学習交流館運営協議会 ) <input type="checkbox"/> 市町首長部局 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
<b>職員数</b>	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 7人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 7人
<b>講座等開催数(前年度実績)</b>	<input type="checkbox"/> 学級・講座 69回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回	<input type="checkbox"/> その他 0回	合計 69回
<b>来館者数(前年度実績)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 9854人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0人	<input type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 0人 <input type="checkbox"/> その他 0人	合計 9854人

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数
<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催	役に立つ介護講座	3回	41人	<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催	興津の地場産業を知る	1回	25人
事業概要(共催先も記載)				事業概要(共催先も記載)			

人口減少とともに高齢者人口が増加して高齢化が進んでいる中、自身の力を地域や社会のために活かし持続可能な地域づくりに取り組みたい方が、介護について正しく理解し、友人や家族に伝え、地域や職場でできる範囲で手助けをする。そのような安心して暮らせる町づくり(心のバリアフリー社会)を担う人を育む。

小学生とその保護者を対象に地元の地場産業を知ると題し、地元で「ねじ」を作っている企業を訪問し、ねじの種類、材料、作り方などを座学で学び、後に「ねじ」の出来上がるまでの工程を見学した。



**施設名****静岡市興津生涯学習交流館**

○特色ある事業

**1. 事業名**

歴史劇の舞台に立とう「朝鮮通信使来る」

**2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど**

平成29年に興津清見寺の資料を含む日韓の朝鮮通信使に関する資料がユネスコの「世界の記憶」に登録され、多くの関心が寄せられている。地域の歴史をもっと多くの方に知っていただき、次世代に繋げていくために、朝鮮通信使に関する歴史劇の演劇体験講座を実施した。

**3. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)**

興津地区で活動しているまちづくり活性化団体、NPO法人AYUドリームのメンバーと中学生を含む一般公募参加者として朝鮮通信使について7月からワークショップを行い朝鮮通信使の歴史背景を学んだ。

9月からは講師の熱心な指導のもと、本番の舞台に向けて呼吸法、発声方法、姿勢や感情表現等を学び10回程度練習を行った。回を重ねるごとに出演者同士の信頼関係も生まれるなど、全員で作品を創り上げようと練習に励んだ。

本番の舞台では、中学校の生徒、先生に加え一般の方も多数来場し、観劇を楽しみ、素晴らしい多世代交流の場となった。

歴史劇は、大変高評で、わかりやすい内容で大勢の方に朝鮮通信使を知ってもらえる貴重な機会となった。

**4. 参加対象、参加者数(前年度実績)**

参加対象	高校生以上	参加者数	23人
------	-------	------	-----

**5. 取組による成果や効果**

演劇「朝鮮通信使」を平成30年から上演している。共催団体であるNPO「AYUドリーム」と地元の興津中学校の生徒達にも演劇に出演してもらい、座学のみでの歴史を学ぶのではなく、演じながら学ぶことでなご一層郷土理解に繋がったと思われる。

**6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法**

「朝鮮通信使」が地域における貴重な歴史・文化として後世に伝えるべきものと捉え、地域、学校等と連携し事業展開できる仕組み・方法を検討が必要である。

**7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン**

これからも地域の子どものために、続けていかなければならないと考える。

また、地元の歴史、文化を継承する講座等をもっと企画していきたい。